

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調査

4-Ⅱ-9

4-Ⅱ-9

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ガイド窓口の設定
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	9 ガイド窓口の設定	事業主体	佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R5	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市観光振興課、佐渡市社会教育課、佐渡を世界遺産にする会
事業概要	【事業目的】 ○ ガイド窓口の設定により、利用者の利便性向上を図る。 【事業内容】 ○ 予約受入窓口とガイド運営体制を整備する。 【本計画終了時点のゴール】 ○ 各地区のふれあいガイドの人数を2倍に増員する。		
これまでの取組実績	○ ガイド手配予約の構築(オンラインでの予約システムの構築)をした。 ○ ガイド研修会の実施 ○ 世界文化遺産登録を見据えたEラーニングコンテンツライブラリ造成。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● 現存のガイド情報の整理 ● 繁忙期の案内所待機態勢の整備・調整 ● ガイドの新規募集 ● 研修の実施 【R6年度実績】 ● 現存のガイド情報を整理した ● 繁忙期の間、相川及び両津案内所にふれあいガイドを常駐させ、空き時間で地域を知ることができるよう調整を行って、島外からの来訪者の利便性の向上を図った。 ● ガイドの新規募集を行い、新規ガイド1名を獲得した(両津) ● 佐渡全島を対象としたガイド養成を佐渡全体英語、佐渡全体日本語、坑道内、小木編を各2回、計8回実施した		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 〔A・B・C〕 ◇ ガイド養成講座を通じて、興味を持っていただく人を増やすことで、ガイドになるハードルを下げ、将来的な人材(コンタクト先)を増やすことができた ◇ 様々なガイド養成講座を設定・実施の実績ができたことで今後必要となるガイド養成講座の足掛かりができた。継続させることで内容を充実させることができる。 ◇ 目標の2倍には及ばなかったが、近年全く増えなかった新規ガイドの獲得ができた		
課題	■ ガイドのニーズ(利用促進)につながる活動が不足している ■ ガイドとして活躍できる(動ける)若手人材は日中本業をしているため、週末に活動期が集中する。しかし、利用者は平日もあり、バランスが難しい。 ■ ガイドを常駐させれば飛び入り客の利用はあるが、変則的で予測ができないため、常駐の経費とコストバランスが悪くなる。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。